

デハ 101 ～日本最古の電車の旅～

≫はじめに

こんにちは。本日は旅行・鉄道研究部の出展にお越しいただきまた「停車場」を手を取っていただきありがとうございます。

高2になって初めて寄稿します武井です。つたない文章かと思いますが最後までお読みいただけると幸いです。

旅行・鉄道研究部では8月18日に上毛電気鉄道さんのデハ101をお借りし貸し切り列車を運行しました。

その様子を綴っていきたいと思います。

≫デハ101とは？

デハ101は昭和3年(1928)に川崎車輛製造でほかのデハ102、デハ103、デハ104とともに製造されました。

52年後の昭和55年にデハ102、デハ103は廃車されてしまいました。

その後デハ101は朝の一往復の運用についていました。

平成9年にはデハ104も廃車となってしまいますが現在は大胡電車区に留置されています。

朝の一往復の運用についていたデハ101ですが平成9年に営業運転を終了し現在はイベント列車、今回のように貸し切り列車、ホキ車牽引車両として活躍しています。

また最近は数を減らしている吊り掛け式のモーターを使用している電車であり鉄道ファンに人気の車両となっています。

今回私たちは11:30に大胡駅に集合し大胡電車庫を見学させていただきました。

軌道自転車に乗せていただいたり、車庫に留置されているデハ104など見学させていただきました。

その後12:30頃貸切列車が発車しました。

貸切列車にはオリジナルのヘッドマークをつけさせていただきました。

